

新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応

児童発達支援センター利用児童に新型コロナウイルスの感染者が発生した場合は、以下のとおり対応する。なお、対応に際しては市こども支援課及び障害者支援課に状況を報告し、連携して対応する。

1 利用児童が感染した場合

(1) 感染した児童が発熱や咳などの症状がある状態で通所利用していた場合

児童の症状や感染の経緯、通所利用の状況等を確認し、施設の一部または全部の臨時休所を検討、判断する。規模及び期間等については次の関係各機関と協議する。

埼玉県西部福祉事務所 介護保険・施設整備担当 電話 049-283-6800

埼玉県障害者支援課 地域生活支援担当 電話 048-830-3317

狭山保健所 電話 04-2954-6212

市新型コロナウイルス感染症対策本部

(2) 感染した児童が発熱や咳などの症状が出ていない状態で通所利用していた場合

一律に臨時休所が必要とまでは言えないことから、児童や家族の症状や感染の経緯、通所利用の状況等を確認したうえで休所の必要性について個別事案ごとに関係機関と相談・協議し、慎重に判断する。

埼玉県西部福祉事務所 介護保険・施設整備担当 電話 049-283-6800

埼玉県障害者支援課 地域生活支援担当 電話 048-830-3317

狭山保健所 電話 04-2954-6212

市新型コロナウイルス感染症対策本部

2 利用児童が感染者の濃厚接触者に特定された場合

当該利用児童の保護者に対し通所利用を控えるよう要請する。なお、この場合において、通所利用を控える期間の基準は、感染者と最後に濃厚接触をした日から起算して2週間とする。

3 職員が感染または感染者の濃厚接触者に特定された場合

利用児童が感染した場合と同様の対応を行う。

4 地域で感染が拡大している場合

利用児童に感染者が発生していない場合であっても、地域全体での感染拡大防止の観点から臨時休所を行うことも考えられることから、関係機関、近隣市等と相談・協議し、慎重に判断する。